

第6回「あつまれ魂拓人」開催

8月4日。佐賀庁舎グラウンドで、「あつまれ魂拓人」が開催されました。

会場では、人権ウルトラクイズや女性相撲、カラオケのど自慢、人の値打ち音頭など、盛りだくさんのイベントに参加し楽しむ多くの来場者の様子が見られました。

「あつまれ魂拓人」は、町内で行われる同和教育推進講座や解放まつりなど、部落問題に関わる中「部落の人や行政の人らだけに頼ったちいかながやないろうか？解放まつりを地区の中でやるばあやなしに地区外でやろうよ」「それも悪くないけど、そんなことにこだわらんと自分らでできることから始めたらえいやいか」と、地域からあがった声があつた。始まりました。

今年も、同じように県外人権啓発活動を行い、このイベントの趣旨に共鳴した太鼓道『荊』（香川県）、ナースログ（愛媛県）がゲスト出演し会場を沸かせました。魂拓人を代表し、町内シンガーソングライターの森秀一

さんは「このイベントが、ただ、楽しかった」で終わるのではなく、みんなの心に人権問題のことを考えてもらおうきつけになつて欲しい。」と自らの歌と言葉で想いを投げかけました。



「魂拓人」は

人権問題をテーマに活動する仲間の集まりです。

差別の問題は、他人ごとじやなくて、自分ら二人ひとりの問題です。障がい者の問題、環境の問題、部落差別問題を通して人権問題を考えあう仲間をつくる。何でも言い合える関係の持てる仲間の輪を広げていくことで、私たちみんなが、明るく楽しく暮らせる環境を「あつまれ魂拓人」を通じて創り出すことができたら最高です。（魂拓人）

第8回上林曉忌短歌大会開催

8月5日。黒潮町出身の作家上林曉をしのぶ「上林曉忌短歌大会」が保健福祉センターで開催されました。

本大会は上林曉顕彰会と上林曉文学館が主催、平成10年に顕彰会が発足してから、俳句大会と短歌大会を交互に開催しており、応募作品、大会参加者の数において県内でも有数の短歌大会になっています。

応募作品は県内外から116点が寄せられ、短歌大会には約50人の出席がありました。選者に高松市在住の歌人玉井清弘さんを招き、『短歌の楽しさ』と題した講演と出席者全員の作品の講評をしていただきました。

入賞作品は上林曉賞特選3点、秀作5点、佳作10点、中山一志賞1点が選ばれました。



なぶらクリーンウォークを実施しました

8月8日。「道路ふれあい月間」にあわせ、四国4県各地で88クリーンウォークが行われました。

町内では、地域づくりや緑化活動に取り組み団体「なぶら」（藤井元洋委員長）が賛同し、8月11日に、土佐西南大規模公園（佐賀地域）から横浜トンネルまでの国道沿いを歩きながら清掃しました。



約1時間、タバコの吸殻や空き缶などのゴミを拾い歩きました。



みんなでワイワイ活動することが好きな方、ぜひご連絡ください。

地への緑化活動、イベントへのボランティアなどの地域活動を行っています。今後は、コスモスの種まき・国道花壇への花植え・10月の戻りガツオ祭りへのボランティアを行う予定です。なぶらでは、活動に参加してくれる仲間を募集しています（主に佐賀地域で活動）。無理をせず、自分たちのできる範囲で楽しみながら活動しています。花や植物が好きの方、活動に興味のある方は、左記まで気軽にお問い合わせください。

○お問い合わせ

なぶら 藤井元洋委員長

☎ 55-2357